

## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月20日

上場会社名 株式会社マナビンテリアハーツ 上場取引所 東  
コード番号 7113 URL https://www.manacs.com/  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塚田 徹  
問合せ先責任者 (役職名)取締役マーケティング部長 兼 管理部門管掌 (氏名)真鍋 光 (TEL)072(669)6771  
四半期発行情報提出予定日 2023年10月20日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年5月期第1四半期の業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	2,776	—	△153	—	△18	—	△19	—
2023年5月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	△2.31	—
2023年5月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は2023年5月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年5月期第1四半期の数値及び2024年5月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。  
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	15,735	2,477	15.7
2023年5月期	15,202	2,493	16.4

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 2,477百万円 2023年5月期 2,493百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年5月期の業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,139	7.3	397	—	325	—	212	—	25.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年5月期1Q	8,480,000株	2023年5月期	8,480,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年5月期1Q	一株	2023年5月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年5月期1Q	8,480,000株	2023年5月期1Q	8,480,000株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、社会経済活動について徐々に回復基調にあるものの、資源価格の高騰による物価上昇や円安の進行などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

家具・ホームファッション業界におきましても、物価及び原材料価格の上昇に加え、業態を超えた販売競争の激化等により、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、社会における当社の存在意義として、“住まいのインテリアをもっと豊かに”をMissionに掲げ、お客様の日常が豊かで潤いに満ちた安らぎの空間となるよう製品の機能性と適切な品質を吟味しながらバリエーションに満ちた個性的なスタイルを追求してまいります。

営業概況といたしましては、円安に伴う食料品価格や光熱費の上昇による節約志向の高まりなどで、来店客数の減少及び客単価が低下したことにより、既存店売上高は減少しております。そのため、自社アプリやInstagramを活用した情報発信を拡大し、販促施策を強化いたしました。店頭では、ベッドやオーダーカーテン商品にて販促キャンペーンを実施し、お客様からご好評をいただきました。今後は、コロナによる移動規制が緩和され、海外での商品開発も再開できる状況となりましたので、自社輸入商品導入による商品力強化により、売上高回復へと努めてまいります。

EC事業におきましては、実店舗同様に消費者の節約志向の高まりやコロナ制限緩和に伴う旅行などの外出増加により、家具等の耐久消費財への需要が低下している影響もあり、売上高の伸び率が鈍化しております。そのような中、7月9日に関西地域にてテレビ放送された「やすとものだこいこ!？」にて紹介されている弊社オリジナル商品の「5Way フィットピロー(枕)」の人气が急増し、ECサイトでも大きく売上に貢献いたしました。この商品は耐久性の高いウレタンを使用しているだけでなく、5通りの使い方ができるという特徴があり、この特徴をしっかりとECページ内で分かりやすく掲載できたところも売上高増加に繋がったと考えますので、今後も商品ごとの特徴をお客様目線で掲載することを心がけ、お客様に支持される商品をECサイトで展開することで、EC事業全体の売上高向上に努めてまいります。

販売費及び一般管理費につきましては、前期に大型店を2店舗開店し、減価償却費及び租税公課が増加しておりますが、電気会社見直しにより水道光熱費が減少するなど、経費削減効果も表れたことで、前年同期を下回っております。

営業外収益、営業外費用につきましては、海外商品の輸入取引による為替変動リスクに備えて、通貨オプション取引及びクーポンスワップ取引を契約しております。これにより、当第1四半期累計期間(2023年6月1日から2023年8月31日)の外国為替相場の変動等に伴い、為替差益40,084千円、デリバティブ評価益114,601千円を計上いたしました。

その結果、売上高は2,776,551千円となり、営業損失は153,032千円となりました。経常損失は18,692千円となり、四半期純損失は19,609千円となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ652,483千円増加し、6,179,747千円となりました。主な変動要因は、現金及び預金694,890千円の増加、商品42,952千円の減少などです。

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べ118,958千円減少し、9,556,022千円となりました。主な変動要因は、有形固定資産95,764千円及び投資その他の資産15,664千円の減少などです。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ21,879千円減少し、3,155,775千円となりました。主な変動要因は、買掛金31,232千円及び1年以内返済予定の長期借入金145,145千円の増加、その他198,256千円の減少などです。

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べ571,640千円増加し、10,102,945千円となりました。主な変動要因は、長期借入金588,242千円の増加などです。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ16,235千円減少し、2,477,048千円となりました。主な変動要因は、利益剰余金19,609千円の減少などです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期通期業績予想につきましては、2023年7月18日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,222,514	2,917,405
売掛金	483,906	408,697
商品	2,555,853	2,512,901
貯蔵品	7,369	7,353
その他	257,620	333,390
流動資産合計	5,527,264	6,179,747
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,236,501	5,170,391
土地	2,353,182	2,353,182
その他(純額)	649,486	619,831
有形固定資産合計	8,239,169	8,143,405
無形固定資産	133,666	126,136
投資その他の資産	1,302,144	1,286,480
固定資産合計	9,674,980	9,556,022
資産合計	15,202,244	15,735,769

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,242	363,475
短期借入金	100,000	100,000
1年以内返済予定の長期借入金	1,352,079	1,497,224
資産除去債務	7,800	—
その他	1,385,532	1,195,075
流動負債合計	3,177,655	3,155,775
固定負債		
社債	900,000	880,000
長期借入金	8,093,958	8,682,200
資産除去債務	528,170	529,784
その他	9,176	10,960
固定負債合計	9,531,305	10,102,945
負債合計	12,708,960	13,258,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	40,000
資本剰余金	77,575	77,575
利益剰余金	2,377,660	2,358,051
株主資本合計	2,495,235	2,475,626
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△1,951	1,421
評価・換算差額等合計	△1,951	1,421
純資産合計	2,493,283	2,477,048
負債純資産合計	15,202,244	15,735,769

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,776,551
売上原価	1,490,314
売上総利益	1,286,237
販売費及び一般管理費	1,439,269
営業損失(△)	△153,032
営業外収益	
受取利息	2,190
為替差益	40,084
デリバティブ評価益	114,601
その他	1,887
営業外収益合計	158,764
営業外費用	
支払利息	21,310
その他	3,113
営業外費用合計	24,424
経常損失(△)	△18,692
税引前四半期純損失(△)	△18,692
法人税、住民税及び事業税	917
法人税等合計	917
四半期純損失(△)	△19,609



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。